

技術資料番号 ケ技資-10032 号

国土交通大臣認定書

認定番号 PS060FL-9189
(認定取得会社 住友電気工業株式会社)

2016年 4月

(認定管理会社)



住電機器システム株式会社



グループ長	担当

認 定 書

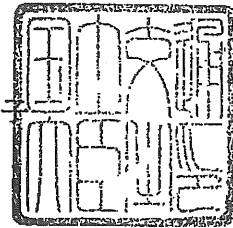
国住指第 4195 号

平成 14 年 5 月 30 日

住友電気工業(株)

社長 岡山 紀男 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 60 分遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-9189

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

両面けい酸カルシウム板 (25mm 以上) 張/水酸化マグネシウム
充填/被覆電線/床

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 構造名

両面けい酸カルシウム板(25mm 以上)張/水酸化マグネシウム充填/被覆電線/床

2. 申請仕様の寸法

申請仕様は次表の通りであり、その根拠は別紙の通り。

項 目	申 請 仕 様
開 口 部	0.6 m ² 以下
占 積 率 (開口面積に対する断面積の総合計の割合)	15.1% 以下
貫通する床の構造等	厚さ100mm以上の床(鉄筋コンクリート)

3. 申請仕様の構成材料

別紙の通り。

4. 構造説明図

添付構造説明図の通り。

5. 施工方法

添付施工方法書の通り。

3. 申請仕様の概要

1. 使用材料説明

本工法で使用する材料は下記の通り。

(1) 耐熱シール材

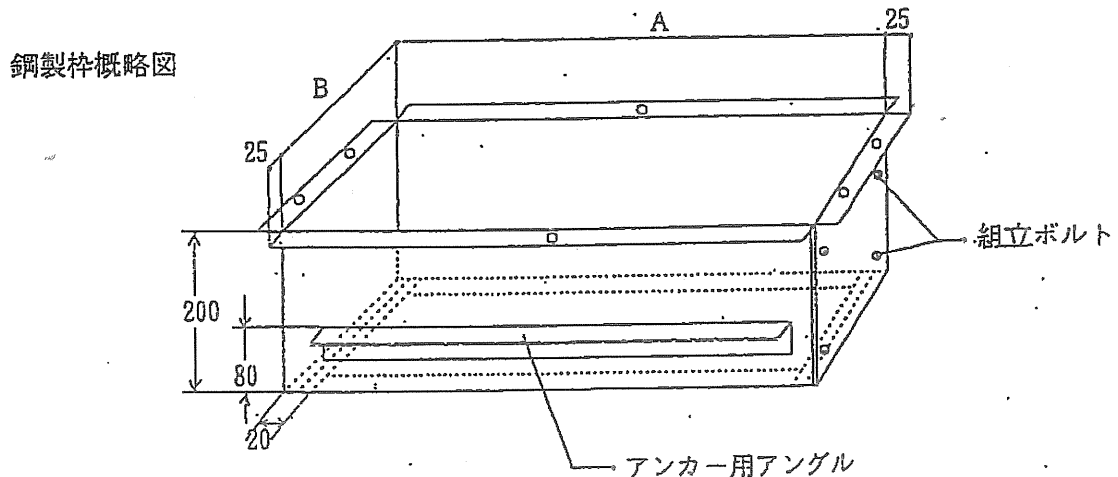
商 品 名	SFエコシール
-------	---------

(2) 耐火仕切板

繊維混入けい酸カルシウム板（通則認定 不燃第1061号品）厚さ 25mm以上。

(3) 鋼製枠

厚さ1.6mm以上の鉄板又は鋼板の加工品で標準鋼製枠の概略図を下図に示す。



2. 適用範囲

電線ケーブルの防火区画貫通部の防火措置工法に適用する。

適用部位 : 床

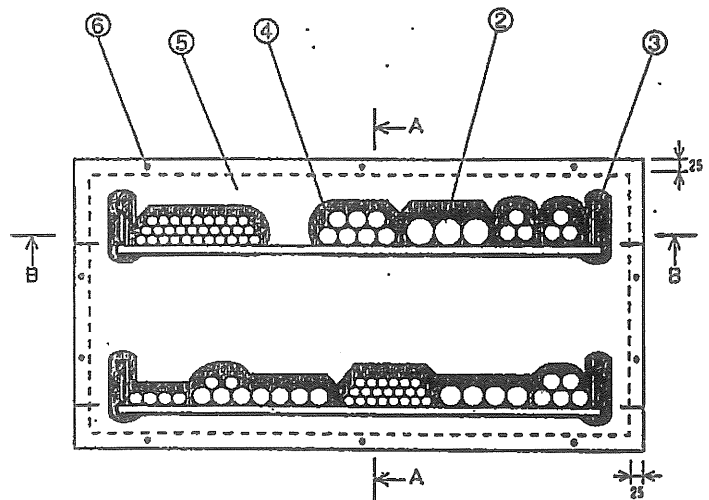
開口面積 : 0.6m^2 以下

ケーブル最大サイズ : CV-T 325 mm^2

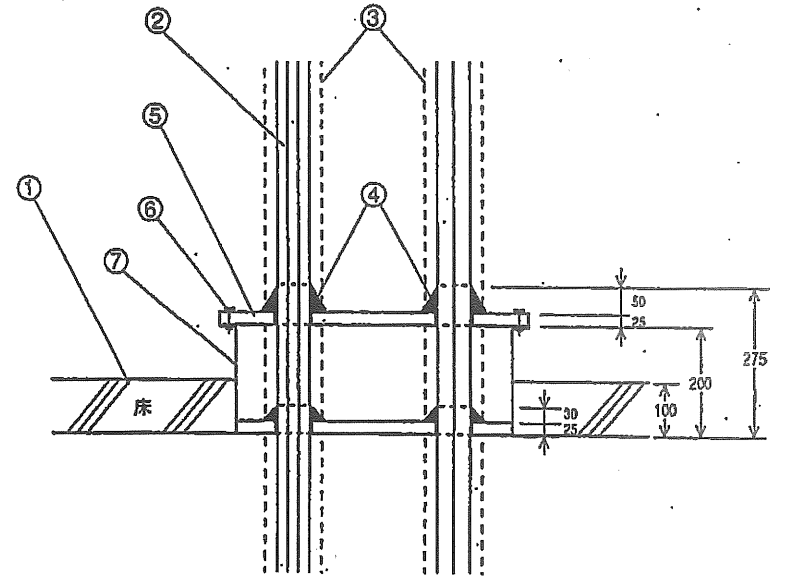
ケーブル占積率 : 15.1%以下

(寸法単位mm)

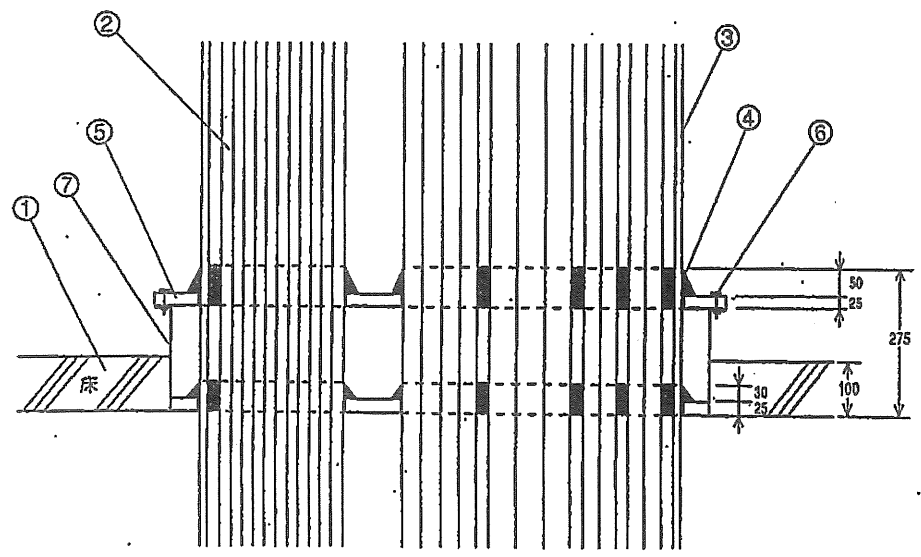
構造説明図



平面図



A-A断面図



B-B断面図

番号	名称
1	床
2	ケーブル
3	ケーブルラック
4	耐熱シール材 (SFIコシール)
5	耐火仕切版 (けい酸カルシウム板 厚25mm以上)
6	固定ボルト
7	鋼製枠 (鋼板厚1.6mm以上)

施工方法

施工は次の手順で行う。(構造説明図及び施工手順図を参照)

(1)寸法取り

- 開口寸法及び貫通ケーブルの配線状況による寸法を測り取る(上.下部共チェック)
- 配線ケーブルと耐火仕切板との隙間は10mm以上を目標とし25mm以下とする。

(2)耐火仕切板の切断加工

- (1)項の寸法を耐火仕切板にけがきジグソーや引き廻し鋸等で切断加工する。

(3)耐火仕切板の設置

- (2)項で加工された耐火仕切板を落とし込み鋼製枠の下縁に乗せる様にはめ込む。
- 耐火仕切板相互が合わさる部分に耐熱シール材(SFエコシール)目地詰めを施す。
- ケーブルと耐火仕切板の隙間部分に耐熱シール材(SFエコシール)を充填する。
充填にあたっては目分量相当のシール材を紐状にして、落とし込まないように注意し、ヘラ等を用いてきっちり充填すること。

(4)下部耐熱シール材(SFエコシール)の充填

- ケーブル及びケーブルラックの周りに耐熱シール材(SFエコシール)を耐火仕切板表面より高さ30mm以上テーパー状に盛り上げる。

(5)上部耐火仕切板取付

- (2)項で加工された耐火仕切板を固定ボルトで鋼製枠に取付ける。
- 耐火仕切板相互が合わさる部分に耐熱シール材(SFエコシール)の目地詰めを施す。
- ケーブルと耐火仕切板の隙間部分は耐熱シール材(SFエコシール)を充填する。
充填にあたっては目分量相当のシール材を紐状にして、中に落とし込まないように注意し、ヘラ等を用いてきっちり充填すること。

(6)耐熱シール材(SFエコシール)の充填

- ケーブル及びケーブルラックの周りに耐熱シール材(SFエコシール)を耐火仕切板表面より高さ50mm以上テーパー状に盛り上げ、施工完了とする。

ケーブル貫通部防火措置工法・施工手順

住友電気工業株式会社

[BCJ-防災-2065工法] 2時間耐火

SFエコシールと耐火仕切板を用い、ロックウールを使用しない大開口床貫通部鋼製枠工法

1. 仕様及び特長

- (1) SFエコシール(ノンハロゲン化耐熱シール材)使用
- (2) ノンロックウール工法(充填材不要)
- (3) 0.6m²までの大開口床貫通部に適用
- (4) ケーブルサイズによらず同一処理
- (5) 床上のみで施工可能

2. 使用材料

- (1) 耐熱シール材＝SFエコシール(非硬化性防火パテ)
- (2) 耐火仕切板＝けい酸カルシウム板・25mm厚
(建設省認定・不燃第1061号)
- (3) 鋼製枠＝鋼板製(1.6mm厚以上)

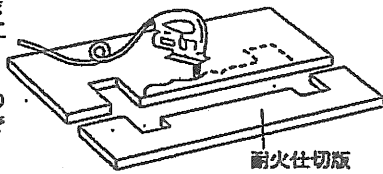
3. 施工手順

「標準的施工は下記の手順で行います」

① 耐火仕切板成形

貫通部の寸法取りのあと、耐火仕切板をジグソーまたはノコギリで成形加工します

上部耐火仕切板取付用のボルト穴を電動ドリルであけます

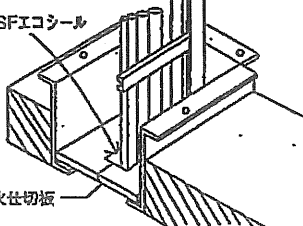


耐火仕切板

② 下部耐火仕切板取付

耐火仕切板を落とし込みます。ケーブル及びラックと耐火仕切板の隙間にSFエコシールを充填する。

(目分量相当のシール材を紐状にして押し込まないよう注意し、釘等を用いてきっちり充填すること)



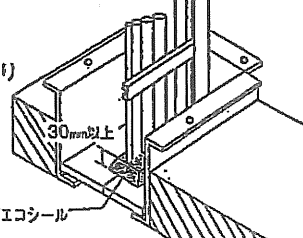
SFエコシール

耐火仕切板

③ 下部SFエコシール充填

SFエコシールは耐火仕切板表面より30mm以上盛り上げる。

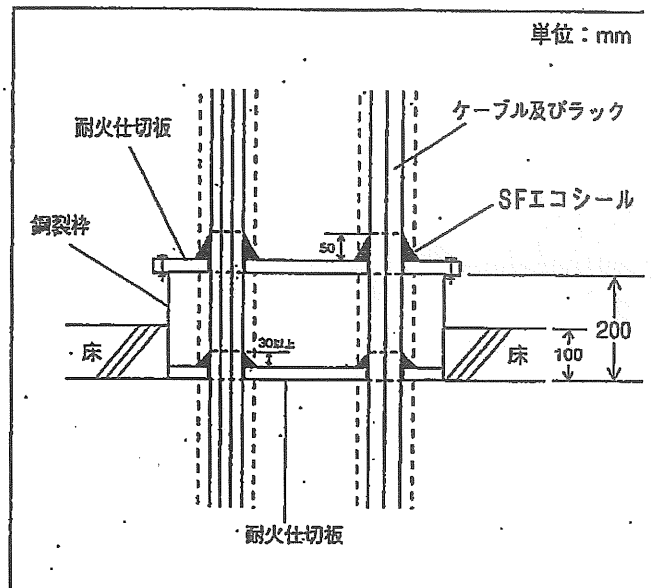
(鋼製枠と耐火仕切板との間に大きな隙間が生じる場合にはSFエコシールでその隙間の目地を施して下さい。)



30mm以上

SFエコシール

施工要領図

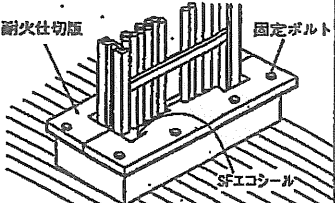


④ 上部耐火仕切板取付

①で加工した耐火仕切版を固定ボルトで取付ける

ケーブル及びラックと耐火仕切板の隙間にSFエコシールを充填する。

(目分量相当のシール材を紐状にして中に落とし込まないよう注意し、釘等を用いてきっちり充填すること)



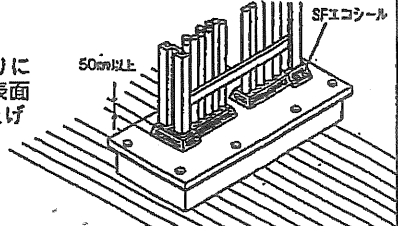
耐火仕切板

固定ボルト

SFエコシール

⑤ 上部SFエコシール充填 施工完了

ケーブル及びケーブルラック周りにSFエコシールを耐火仕切板表面より50mm以上盛り上げ 施工完了です。



50mm以上

SFエコシール